



桑名市教育委員会イメージ
キャラクター「くわっぽ」

かわら版

NO. 31

多度地区小中一貫校整備事業

義務教育学校 桑名市立『多度学園』基本設計固まる

6月24日、今年度最初の開校準備委員会を開催し、『多度学園』の施設に関する基本設計（案）についての意見交換を行いました。

事業者の提案内容については、教育指導部会等において、事前に学校運営の視点から意見交換を行いましたので、開校準備委員会の委員の皆様には、提案時よりブラッシュアップした基本設計（案）をご覧いただきました。

委員の皆様からは、

- これまでの意見を反映されたとても良い施設に感じる。
- 敷地が広いことから、セキュリティをしっかりとほしい。
- 校舎内のことに関しては、学校運営の中でいろいろ工夫できると感じる。
- 避難所機能として物資の搬入経路は確保されているのか など

たくさんのご意見をいただきました。これら意見をもとに再度調整を行い、基本設計として固めたものを7月19日の全員協議会において市議会議員の皆様へ報告致しました。

今後は、必要となる許認可を取得し、秋ごろの造成開始を予定しております。引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。



～裏面に続く～



日本初!! AI とつくる『多度学園』の校歌

6月24日・7月29日開催の開校準備委員会では、多度学園の校歌について協議を行いました。

多度学園は、市内初となる9年間の義務教育学校としてスタートする学校ですので、これからの時代の学校に相応しい校歌が期待されます。一方で、委員の皆様からは、これまで培われてきたことを大切にしたいという意見もございました。

いろいろな作成方法が考えられる中、地域の思いを反映させた校歌を何とか自分たちで作詞・作曲できないものかと思慮しました。

協議の結果、開校準備委員会は、音楽分野の専門家の集まりではないため、校歌に込めたい思いやキーワード等を公募したうえで、全国の校歌を学習しているAIを活用して作詞・作曲を行おうということとなりました。

そして、AIについては、校歌に特化したAI技術の研究をしている『超校歌プロジェクト』という研究機関とともに制作することとなりました。こちらは、特定国立研究開発法人『理化学研究所 革新知能統合研究センター』が共同研究しているプロジェクトになります。

AIを活用することにより、作成過程において人が納得できるまで何度でもやり直しができます。つまり、人とAIが共創することで地域が主体となって『多度学園』の校歌を作成できるというものです。これは日本初の試みで、『多度学園』のようなこれからの時代の学校の校歌を作るための、先駆けとなるチャレンジです。

つきましては、多度地区の皆様が校歌に込めたいキーワードや思い等を、別紙「こんな校歌になったらいいな」により公募いたします。応募方法をご参照の上、ぜひご応募ください。

*Webフォームにて応募される方は、右記QRコードよりお願いします。



桑名市ホームページ：

子育て・教育－学校教育－教育委員会－教育総合（計画・統計等）－多度地区小中一貫校整備事業－かわら版

<https://www.city.kuwana.lg.jp/kosodatekyouiku/school/kyouikuiinkai/kyouikusougou/tado.html>

【事務担当】 桑名市教育委員会事務局 新たな学校づくり課 T e l : 2 4 - 1 3 5 4

<かわら版>